

声をかける その一歩から。 災害支援×福祉 体験型ワークショップ

2025年度 第3回 KG災害ボランティア講座



災害のあと、被災された方々の生活を支えるには、住宅復旧や物資支援だけでなく、
“人とのつながり”や“心のケア”が大きな支えになります。

このワークショップでは「仮設住宅の集会所で行う交流会」を模したロールプレイで体験しながら学びます。

開催概要

日時：9月19日(金)15:30～17:30

会場：西宮上ヶ原キャンパス 社会学部棟 202教室

対象：関西学院大学の学部生・大学院生、
関西学院短期大学生、および教職員

費用：無料

申込：不要

→ 開始5分前をめどに直接会場へお越しください！

こんな人にオススメ！

- * 災害支援やボランティア、福祉に関心がある
- * 地域の人たちとどう関わるか考えてみたい
- * 福祉・教育・地域支援などの仕事を目指している

ロールプレイの進め方

「ボランティア役」「被災者役」に分かれて行います。

ボランティア役は、不安や孤立を感じている被災者とどのように関わるかを考え、接します。
被災者役は、今回は特に高齢の方や障がいのある方、生活に不安を抱える方々等と接することを想定し、
福祉体験機器（白内障ゴーグル、関節制限器具など）を身につけて、
日頃の生活について想像と体験をしながらボランティアと接します。



例えば…

- ✓ 外出が難しくなり、家に閉じこもりがちな高齢の方
- ✓ 被災による生活環境の変化に戸惑う障がいのある方
- ✓ 支援を頼めずに、日常生活に困りごとを抱える方

- 最初は緊張したけれど、目線を合わせるだけでも安心することが分かって、参加して良かったです！
- 福祉用具を付けたり、交流の練習ができる、他ではできない体験でした。（前回参加者の感想）



“被災者”的立場に立ってみる。”ボランティア”として何ができるかを考える。
ひとりひとりの声に耳を傾け、「寄り添う支援」とは何かを、一緒に探ってみませんか？

